

2023 7.8(土) ▶ 9.3(日)

開館40周年
記念特別展

星降る 中部高地の 縄文世界

—黒曜石ネットワークによる物流と人流—

黒曜石は火山が生み出した自然のガラスで、いにしへの時代より石器づくりに欠かせない特別な素材として重宝されてきました。なかでも信州産の黒曜石は良質なことで知られ、周辺地域のみならず、遠く北海道や青森県の遺跡からも発見されており、その品質の高さを背景にブランド化し、広く流通していたことがうかがえます。やがて各地の需要に対してより安定的な供給をはかる必要性がでてくると、山梨県域にある八ヶ岳南麓の集団によって組織的な交易が行われるようになり、流通をコントロールする主体的な役割を担っていくようになったと考えられます。こうした「交易」がもたらした繁栄のもと生み出された土器や土偶は文化財として高く評価され、縄文人の営みや芸術性を身近に感じることができるものがたりとして、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅—」に認定されています。本展では、日本遺産構成文化財をはじめ、その文化的影響を受けた交流地域の資料を一堂に集め、中部高地に花開いた魅惑の縄文ワールドをご覧ください。



『多摩のヴィーナス』
山梨に初登場！

観覧料

一般・大学生 600(480)円

小・中・高校生
県内在住の65歳以上の方 **無料**

※()内は20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料



- 自動車：中央自動車道甲府南ICを下り1分 (IC正面)
- 電車：甲府駅南口から中道橋経由豊富行バス「県立考古博物館」下車
- タクシー：甲府駅から約20分・東花輪駅より約15分

山梨県立考古博物館
Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

〒400-1508 山梨県甲府市下曽根町 923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882
@yamanashi_kouko @yamanashi.kouko1103

記念
講演会

8.20(日)

参加無料・要事前予約

10:00~15:00
【中休みあり】

会場

風土記の丘研修センター
【山梨県甲府市下向山町 1271】

基調
講演

「日本遺産『星降る中部高地の縄文世界』の魅力

高橋 龍三郎 館長【当館館長・早稲田大学文学学術院教授】

座談会

- 一部「黒曜石鉱山と人々の暮らし」大竹 幸恵氏【日本考古学協会副会長・星くずの里たかやま黒曜石体験ミュージアム】
- 二部「縄文時代の黒曜石の流通」保坂 康夫氏【身延山大学】
- 三部「縄文の装身具」栗島 義明氏【明治大学黒曜石研究センター】
- 四部「中部高地の縄文世界」小野 正文氏【元山梨県埋蔵文化財センター所長】

7月20日(木)より電話またはホームページの電子申請より申し込みを受け付けます。また、オンラインでも同時配信予定ですが、そちらのご予約はホームページのみでの対応となります。

ワーク
ショップ

7.30(日)

会場

山梨県立考古博物館
【山梨県甲府市下曽根町923】

★黒曜石の石器づくり体験ほか、縄文にちなんだものづくりワークショップを開催

くわしくは
当館HPを
ご覧ください

<画像：左上から時計回りに>
1【国重要文化財】顔面付釣手形土器 御殿場遺跡 伊那市教育委員会蔵 / 2 小型深鉢形土器 日南田遺跡 八王子市教育委員会蔵
3【相模原市指定文化財】クシミ形土器 田名塩田遺跡 相模原市立博物館蔵 / 4 浅鉢形土器 御嶽堂遺跡 町田市教育委員会蔵
5【長野県宝】顔面把手付深鉢形土器 榎外垣遺跡 岡谷市美術考古館蔵 / 6 彩色土偶 多摩ニュータウンNo.471 遺跡(公財) 東京都埋蔵文化財センター蔵 / 7 黒曜石原石 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡 下諏訪町蔵 / 8 土製耳飾 土田遺跡 下諏訪町蔵
9【国重要文化財】深鉢形土器 殿林遺跡 山梨県立考古博物館蔵